

## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 日本ロジテム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9060 URL https://www.logitem.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中西 弘毅  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 五味 正毅 TEL 03-3433-6711  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月8日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	31,234	2.3	468	20.8	441	21.7	214	23.8
2023年3月期第2四半期	30,532	7.8	388	22.8	362	8.7	172	△9.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 764百万円 (△16.2%) 2023年3月期第2四半期 912百万円 (106.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	156.46	—
2023年3月期第2四半期	126.35	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	46,611	14,423	30.8	10,506.28
2023年3月期	46,312	13,714	29.5	9,993.71

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 14,375百万円 2023年3月期 13,674百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2024年3月期	—	40.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,500	3.2	1,100	5.6	1,000	0.6	550	5.0	401.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	1,383,310株	2023年3月期	1,383,310株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	15,028株	2023年3月期	14,967株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	1,368,292株	2023年3月期2Q	1,368,343株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

決算説明資料については、当社ウェブサイトにも11月下旬頃、掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、感染症の下で抑制されてきた社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、中国経済の減速や世界的な金融引き締めの影響に加えて、物価上昇に伴う消費の抑制等が懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する物流業界につきましては、全般的に荷動きが伸び悩んだほか、人件費の上昇や燃料価格の高騰によりコストが増加するなど、取り巻く環境は厳しいものでありました。さらに、人手不足や2024年問題への対応が喫緊の課題となっております。

このような状況の中、当社グループは、新たな中期経営計画（2023年度から2025年度まで）においてテーマとした「環境変化に適応した強固な体制づくり」「適切な利益を安定確保できる収益構造の確立」「社会課題解決への貢献」に取り組んでまいりました。

国内におきましては、前連結会計年度に開設した拠点の安定稼働に注力するとともに、先端技術の活用等により業務の効率化に取り組みました。また、8月に冷凍冷蔵機能を持つ拠点「横浜港北センター」を開設いたしました。

海外におきましては、輸出入関連貨物を中心に低調な荷動きとなる中で、着実に収益を確保するため得意先との取引深耕を進めました。また、タイ最大の国際貿易港であるレムチャバン港近郊に新倉庫を開設するなど、幅広い物流ニーズに対応できる体制を整備いたしました。

社会課題解決への貢献に関しましては、4月に「CSR本部」を設置し、サステナビリティに関する重要課題の明確化および推進体制の構築に向けて活動を開始いたしました。

これらの取り組みにより、営業収益につきましては、前連結会計年度に開設した拠点のアセット事業が拡大したほか、ベトナムやタイの現地通貨に対して為替が円安で推移したことなどから、増収となりました。利益面につきましては、コスト高の影響があったものの、アセット事業の増収効果に加えて、作業効率の向上によりセンター事業の利益が増加したことなどから、増益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は312億34百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は4億68百万円（同20.8%増）、経常利益は4億41百万円（同21.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億14百万円（同23.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①貨物自動車運送事業

国内外ともに輸送需要が低調であったことに加えて、前連結会計年度に契約を終了した得意先もあり貨物輸送量が減少したこと、さらに運送コスト増加の影響を受けたことなどから、減収減益となりました。

その結果、営業収益は、122億85百万円（前年同期比0.2%減）、セグメント利益は、8億60百万円（同1.1%減）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループ営業収益全体の39.3%を占めております。

#### ②センター事業

営業拡大により食品や日用品関連の取扱量が増加したこと、前連結会計年度に開設した拠点において、物流センター業務の作業効率が向上したことなどから、増収増益となりました。

その結果、営業収益は、71億23百万円（前年同期比1.2%増）、セグメント利益は、92百万円（同240.7%増）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループ営業収益全体の22.8%を占めております。

### ③アセット事業

拠点の拡充により保管面積が拡大したほか、得意先との取引深耕や保管貨物の新規誘致が進展し、倉庫稼働率が高い水準で推移したことなどから、増収増益となりました。

その結果、営業収益は、84億76百万円（前年同期比8.4%増）、セグメント利益は、6億6百万円（同58.0%増）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループ営業収益全体の27.2%を占めております。

### ④その他事業

輸出入関連事業において、海上輸送の需要鈍化や運賃下落の影響を受け取扱量が減少したこと、また前年同期は大口の輸出案件を獲得していたことなどから、減収減益となりました。

その結果、営業収益は、33億49百万円（前年同期比0.4%減）、セグメント利益は、5億17百万円（同7.4%減）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループ営業収益全体の10.7%を占めております。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、1億6百万円減少し、146億21百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて、無形固定資産が1億97百万円、敷金及び保証金が1億20百万円増加したこと等により4億5百万円増加し、319億90百万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて、2億99百万円増加し、466億11百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、2億39百万円減少し、164億79百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて、社債が8億円増加したものの、長期借入金が5億14百万円、リース債務が4億56百万円減少したこと等により1億69百万円減少し、157億8百万円となりました。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて4億9百万円減少し、321億88百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、利益剰余金が1億59百万円、為替換算調整勘定が4億74百万円増加したこと等により7億9百万円増加し、144億23百万円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は35億72百万円となり、前連結会計年度末と比較して、4億32百万円の資金の増加（前年同期は4億28百万円の資金の減少）となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が3億94百万円、減価償却費が11億8百万円、売上債権及び契約資産の増減額が5億66百万円あったこと等により、19億29百万円の資金の増加（前年同期比9億34百万円増）となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が7億9百万円、無形固定資産の取得による支出が1億71百万円あったこと等により、9億49百万円の資金の減少（前年同期は16億54百万円の資金の減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出が20億16百万円あったものの、長期借入れによる収入が13億円あったこと等により、6億37百万円の資金の減少（前年同期は1億5百万円の資金の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきまして業績は概ね計画どおりに推移しており、2023年5月15日に公表しました2024年3月期の連結業績予想の修正はありません。

今後、修正が必要と判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,745,381	4,183,403
受取手形、営業未収入金及び契約資産	8,112,129	7,624,178
その他	2,872,756	2,816,026
貸倒引当金	△2,505	△2,568
流動資産合計	14,727,761	14,621,040
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,026,694	5,052,926
土地	6,818,333	6,833,950
リース資産(純額)	5,316,102	4,858,979
その他(純額)	3,409,500	2,785,371
有形固定資産合計	19,570,630	19,531,228
無形固定資産	1,233,380	1,430,381
投資その他の資産		
敷金及び保証金	7,110,604	7,230,915
その他	3,713,950	3,841,839
貸倒引当金	△43,781	△43,660
投資その他の資産合計	10,780,774	11,029,094
固定資産合計	31,584,785	31,990,704
資産合計	46,312,546	46,611,745
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	3,079,152	2,860,783
短期借入金	9,370,565	8,885,438
賞与引当金	437,252	487,516
その他	3,832,748	4,246,008
流動負債合計	16,719,719	16,479,747
固定負債		
社債	—	800,000
長期借入金	8,572,537	8,057,811
リース債務	4,571,505	4,115,129
役員退職慰労引当金	302,036	282,550
退職給付に係る負債	280,535	288,146
資産除去債務	574,267	574,601
その他	1,577,605	1,590,285
固定負債合計	15,878,487	15,708,523
負債合計	32,598,206	32,188,270
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,145,955	3,145,955
資本剰余金	3,190,072	3,190,072
利益剰余金	6,505,999	6,665,344
自己株式	△37,498	△37,705
株主資本合計	12,804,527	12,963,666
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,780	208,059
為替換算調整勘定	296,680	771,550
退職給付に係る調整累計額	469,839	432,282
その他の包括利益累計額合計	870,301	1,411,892
非支配株主持分	39,511	47,915
純資産合計	13,714,340	14,423,474
負債純資産合計	46,312,546	46,611,745

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業収益	30,532,978	31,234,363
営業原価	28,692,446	29,165,738
営業総利益	1,840,532	2,068,624
販売費及び一般管理費		
人件費	889,829	973,415
その他	562,501	626,242
販売費及び一般管理費合計	1,452,331	1,599,657
営業利益	388,200	468,966
営業外収益		
受取利息	7,760	12,291
受取配当金	21,623	8,865
受取手数料	5,417	5,589
持分法による投資利益	—	24,636
為替差益	1,831	—
リサイクル材売却益	9,774	15,888
その他	14,969	17,024
営業外収益合計	61,376	84,295
営業外費用		
支払利息	73,783	86,985
持分法による投資損失	12,150	—
為替差損	—	10,386
その他	1,176	14,826
営業外費用合計	87,110	112,198
経常利益	362,467	441,063
特別利益		
固定資産売却益	19,304	26,220
その他	99	—
特別利益合計	19,404	26,220
特別損失		
固定資産除売却損	2,280	579
減損損失	30,540	3,824
災害による損失	—	61,454
リース解約損	—	6,944
特別損失合計	32,821	72,802
税金等調整前四半期純利益	349,050	394,481
法人税、住民税及び事業税	239,412	120,292
法人税等調整額	△70,694	57,212
法人税等合計	168,717	177,505
四半期純利益	180,332	216,976
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,442	2,897
親会社株主に帰属する四半期純利益	172,889	214,079



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	180,332	216,976
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,057	103,863
為替換算調整勘定	677,470	431,940
退職給付に係る調整額	△46,086	△37,557
持分法適用会社に対する持分相当額	84,310	48,851
その他の包括利益合計	731,751	547,098
四半期包括利益	912,083	764,074
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	916,551	755,670
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,467	8,403

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	349,050	394,481
減価償却費	1,041,446	1,108,843
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△271	△195
賞与引当金の増減額 (△は減少)	48,405	45,064
退職給付に係る資産負債の増減額(△は減少)	△64,541	△50,143
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	43,931	△19,486
受取利息及び受取配当金	△29,383	△21,156
支払利息	73,783	86,985
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△17,024	△25,641
減損損失	30,540	3,824
災害による損失	—	61,454
リース解約損	—	6,944
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	357,072	566,346
未払又は未収消費税等の増減額	△207,134	145,760
仕入債務の増減額 (△は減少)	△249,783	△253,686
その他	84,669	54,486
小計	1,460,760	2,103,884
利息及び配当金の受取額	42,380	37,403
利息の支払額	△73,611	△83,331
災害による損失の支払額	—	△33,100
法人税等の支払額	△434,690	△95,564
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>994,839</b>	<b>1,929,291</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	6,226	—
有形固定資産の取得による支出	△1,259,489	△709,265
有形固定資産の売却による収入	23,346	33,261
無形固定資産の取得による支出	△237,146	△171,931
敷金及び保証金の差入による支出	△263,328	△127,109
その他	75,781	25,517
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,654,610</b>	<b>△949,527</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	561,925	△319,005
長期借入れによる収入	2,300,000	1,300,000
長期借入金の返済による支出	△2,172,362	△2,016,040
リース債務の返済による支出	△528,759	△536,470
社債の発行による収入	—	989,120
配当金の支払額	△54,972	△54,697
その他	—	△206
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>105,829</b>	<b>△637,299</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	125,023	89,561
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△428,918	432,026
現金及び現金同等物の期首残高	3,169,473	3,139,980
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,740,555	3,572,006

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	貨物自動車 運送事業	センター事業	アセット事業	計				
営業収益								
外部顧客への営業収益	12,307,462	7,040,139	7,822,591	27,170,193	3,362,785	30,532,978	—	30,532,978
セグメント間の内部収益 又は振替高	—	—	13,929	13,929	—	13,929	△13,929	—
計	12,307,462	7,040,139	7,836,520	27,184,122	3,362,785	30,546,907	△13,929	30,532,978
セグメント利益	870,039	27,252	383,990	1,281,282	558,809	1,840,091	△1,451,890	388,200

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントに関連する事業(引越移転事業、施工関連事業、輸出入貨物取扱事業、通関事業、港湾関連事業、労働者派遣事業、物品販売業、総合リース業、旅客自動車運送事業等)であります。

2. セグメント利益の調整額△1,451,890千円は、セグメント間取引消去および各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない総務、人事、経理等管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

「センター事業」セグメントおよび「アセット事業」セグメントの一部の事業拠点の事業用資産については収益性の低下により投資額の回収が見込めなくなったため、事業用資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、「センター事業」セグメント17,164千円、「アセット事業」セグメント13,376千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	貨物自動車 運送事業	センター事業	アセット事業	計				
営業収益								
外部顧客への営業収益	12,285,495	7,123,188	8,476,117	27,884,800	3,349,562	31,234,363	—	31,234,363
セグメント間の内部収益 又は振替高	—	—	13,929	13,929	—	13,929	△13,929	—
計	12,285,495	7,123,188	8,490,046	27,898,729	3,349,562	31,248,292	△13,929	31,234,363
セグメント利益	860,066	92,846	606,856	1,559,769	517,328	2,077,098	△1,608,131	468,966

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントに関連する事業(引越移転事業、施工関連事業、輸出入貨物取扱事業、通関事業、港湾関連事業、労働者派遣事業、物品販売業、総合リース業、旅客自動車運送事業等)であります。

2. セグメント利益の調整額△1,608,131千円は、セグメント間取引消去および各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない総務、人事、経理等管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

「アセット事業」セグメントの一部の事業拠点の事業用資産については収益性の低下により投資額の回収が見込めなくなったため、事業用資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては3,824千円であります。